

「主の僕の苦難」 マタイによる福音書 26 章 57-68 節

2022.12.4

●アウトライン

1. 主の僕の苦難

- ・「最高法院」とは
- ・不正と偽証に満ちた裁判
- ・最高法院に見られる人間の罪
- ・主の僕の苦難の意味（イザヤ書 53 章 5-11 節）
- ・私たちの罪のために…

2. 勝利を待ち望む苦難の時

- ・キリストの苦難は、罪と死の力に対する勝利へと向かうためにあった。
- ・キリストに連なる主の僕たちである私たちの苦難も。
- ・ワールドカップの話
- ・「アドベント（待降節）」の意味
- ・私たちの苦難はキリストにあって、いつか終わる時が来る。

●聖書箇所

【イザヤ書 53 章 5-11 節、旧約聖書 1149-1150 ページ】

「彼が刺し貫かれたのは／わたしたちの背きのためであり／彼が打ち砕かれたのは／わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって／わたしたちに平和が与えられ／彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。わたしたちは羊の群れ／道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。そのわたしたちの罪をすべて／主は彼に負わせられた。苦役を課せられて、かがみ込み／彼は口を開かなかった。屠り場に引かれる小羊のように／毛を刈る者の前に物を言わない羊のように／彼は口を開かなかった。捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか／わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり／命ある者の地から断たれたことを。彼は不法を働かず／その口に偽りもなかったのに／その墓は神に逆らう者と共にされ／富める者と共に葬られた。病に苦しむこの人を打ち砕こうと主は望まれ／彼は自らを償いの献げ物とした。彼は、子孫が末永く続くのを見る。主の望まれることは／彼の手によって成し遂げられる。彼は自らの苦しみの実りを見／それを知って満足する。わたしの僕は、多くの人が正しい者とされるために／彼らの罪を自ら負った。」

【ヨハネによる福音書 16 章 33 節、新約聖書 201 ページ】

「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」